

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回福津市文化財保護審議会	
開催日時	令和5年7月5日(水)	午前・ <input type="checkbox"/> 午後 1時30分から 午前・ <input type="checkbox"/> 午後 3時20分まで
開催場所	福津市役所2階庁議室	
委員名	(1) 出席委員 大賀康子、桑田和明、田中久美子、 辻田淳一郎、花田洋子、山野善郎 (2) 欠席委員	
所管課職員職氏名	城野教育部長、占部文化財課長 松永文化財係長、田上文化財係長、南主査、崎野主任 高木主事、渡邊主事	
会 議	議 題 (内 容)	報告 ・令和5年度発掘調査事業予定 ・新規寄贈受入れ資料について 審議 福間浦盆踊りの無形民俗文化財指定について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0名
	資料の名称	令和5年度第1回福津市文化財保護審議会次第、令和5年度発掘調査事業予定資料、新規寄贈受入れ資料について、指定審議に関する資料
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	記録内容の確認方法	
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

司会進行：南

1. あいさつ (城野教育部長)
2. 辞令交付
3. 会長・副会長の選任
会長： 桑田和明
副会長： 大賀康子
4. 報告
 - ・令和5年度発掘調査事業予定 (田上、高木)
 - ・新規寄贈受入れ資料について (松永)
5. 審議

福間浦盆踊りの無形民俗文化財指定について

【審議経過説明、現状確認】

(事務局)

福間浦盆踊りは平成28年に市指定申請があり、令和3年に審議を開始し現在も継続審議中。この間に指定のための追加調査を実施するも明治以前の成立を示す新資料もなく現状では指定困難。今回、別の手立てとしての選択文化財について事務局から内容を説明する。

～資料の選択文化財を説明～

(会長)

- ・現状では指定困難であるとの認識で良いかを各委員に確認。

(各委員)

- ・現状指定困難と判断。

【選択文化財とする案について】

(各委員)

～福津市文化財保護条例第30条および第33条について議論が交わされた～

- ・条文に市が「適当なものに対し」支援を行うとあるが、だれが適当なものを認定するかが書かれていないので規則等で定めるべき
- ・選択文化財に対する市の支援、予算措置の範囲は整理する必要あり。
- ・市の中であまり先が見通せていない。選択後の展望が見えない。
- ・選択の基準案に「重要なもの」とあるが、希少性を具体的に示す必要あり。
- ・選択文化財の場合も選択を戦略的に行う必要ある。理由付けを明確に。
- ・選択文化財は記録をすることが主体となるが、継承はどうするのか。
- ・福間浦盆踊りに特化せず、津屋崎盆踊りなども含めた将来的なカテゴリー化も想定した選択も考えられる。
- ・福津市の指定文化財と選択文化財の差が分からない。
- ・どのような制度を使えば後継者育成につながるか。記録だけではもったいない。
- ・盆踊りはその時々で流行を取り入れており、それが本質。この評価が一番難しい。曲や踊りの価値など現段階で分かっていることでの判断が難しい。

〔結論〕

・内容的なところで質問・意見が出ており、この場で方向性を決定することは難しい。次回審議会までに各委員とも相談しながら事務局で再度検討してもらう。

6. その他

- ・事務連絡